

USB ダンパーの導入(4) —PC による HDD 収納ファイル音源再生—

1. 始めに

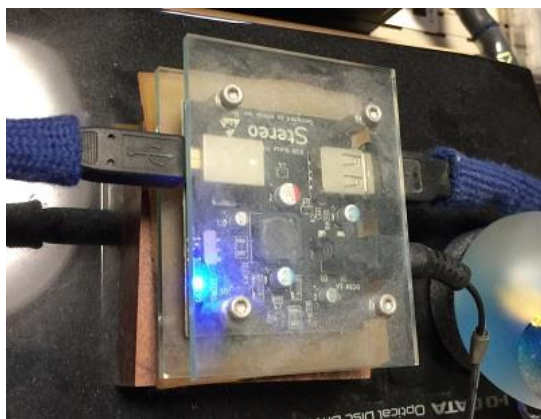
前報(3)に引き続き、ヴォリュームアキュライザーの感想文により入手した USB ダンパーの効果を確認していきます。

2. USB ダンパーの試聴計画

前報(2)で述べたような事情から、今回も PC によるファイル音源再生とします。再生経路は次のとおりです。

外付け HDD→ES-OT4→PC→Sonica DAC

PC の USB 端子出力側には既に装着済なので ES-OT4 の入力側 USB 端子に 1 枚を、PC の入力側 USB 端子には二つ折りで適用します。ES-OT4 は[ステレオ誌付録のノイズフィルター](#)です。



まずは、USB ダンパーなしで聴いておき、ES-OT4 の入力側と PC の USB 端子入力側に適用します。

外付け HDD に収納したファイル音源を ES-OT4 経由で PC に読み出し、再生しま

すが、ファイル音源再生ソフトは、**TEAC Hi-Res Editor** を使用します。
なお、**TruPhase** と **Langevin 6V6pp** アンプには **VRA-7** を貼っており、PC の **Sonica DAC** 出力側の **USB** ポートには既に **USB ダンパー** を適用しています。
音源としては、外付け **HDD** に収納した **DSD** および **PCM** 音源を選んで再生します。

5.1MHzDSD (DA-3000 録音)

2018 年ウイーンフィル NY コンサート

44.1KHzWAV (CD リッピング)

前橋汀子 バッハ 無伴奏パルティータ

44.1KHzWAV (MQA-CD リッピング・再生は MQA デコードなし)

ロストロポーヴィチ(チェロ) カラヤン指揮ベルリンフィル

ドボルザーク チェロ協奏曲

3. USB ダンパーの試聴結果

TruPhase と **Langevin 6V6pp** アンプには **VRA-7** を貼っており、PC の **Sonica DAC** 出力側の **USB** ポートには **USB ダンパー** を適用していますので、**HDD** からの入力側に **USB ダンパー** なしでも、これまでと違った音質で再生されています。
ES-OT4 の入力側と PC の **USB** 端子入力側に適用しますと、**Hi-Res Editor** は先読みしますので、効果があるかどうか疑問でしたが、以下のような効果があり、恐らく先読みする段階での効果と思われます。

ウイーンフィル NY コンサートは、ライブ感が向上します。

バッハの無伴奏パルティータは、前橋汀子の演奏会で聴いているものですが、ガレネらしい表情が出てきます。

ドボルザークはチェロ協奏曲は、**MQA-CD** からのリッピング音源で、再生は **MQA** デコードなしの条件ですが、音が緻密になり、チェロの細かいニュアンスの再現が向上します。

再生ソフトの **Hi-Res Editor** は先読みすること、**HDD** は 10 年近く前の一般の PC 用のもの、**USB** ケーブルはオーディオ用ですが、インフラノイズの旧タイプ、ノイズフィルターの **ES-OT4** はステレオ誌の付録ということで、あまり期待していませんでしたが、それでも **USB ダンパー** の効果で、バッハの無伴奏パルティータなどは **CD** リッピングとは思えないほどの音質で楽しめるようになりました。

4. まとめ

外付け **HDD** からのファイル音源再生において、ノイズフィルターの **ES-OT4** の入力側 **USB** 端子と PC の入力側 **USB** 端子に **USB ダンパー** を適用する効果を認めました。

以上